

日 時： 令和2年7月28日（火）18時30分～19時30分

場 所： 校長室

出席者： 委 員 森田 英嗣（大阪教育大学理事・副学長）
新崎 国広（大阪教育大学教授） 【欠席】
竹村 伍郎（NPO法人 まち・すまいづくり理事長）
浅田 千鶴（同窓会副会長）
高谷 実穂（前PTA会長）
上杉 伸一（現PTA会長） 【欠席】

事務局 山崎 晃昭（校長）、佐保田 真一（教頭）、山崎 義文（事務長）、伊勢田 佳典（首席）、
山口 優（首席）、菅 康之（記録係）

I. 挨拶

① 校長より

- ・本年度委員委嘱、会長を森田氏に依頼し、了承される。

II. 学校からの説明・報告

①令和2年度入試結果・72期生進路決定状況について

- ・今年度はセンター入試最後の年に当たり、制度の変わりめは現役志向が強くなる傾向があるが、本校は例年と変わらない比率（国公立35%、私立35%、未定・その他30%）であった。
- ・京都大、大阪大、神戸大への合格者数は75名で、目標の80名に近付きつつある。また、現役国公立合格者数139名は目標の130名以上をクリアしている。

②令和2年度「学校経営計画」の進捗状況等について

i. 学校行事について

- ・「学校経営計画」は3月に作成され、新型コロナウイルスによる状況変化後も変更はされていないので、実施できない行事等も出ている。例えば、海外研修、1年学習合宿は中止。記念祭は10月に変更している。
- ・学校説明会等も中止し、学校PR活動としてはHP上に動画等を掲載、秋に学校見学会開催を検討中。

ii. 学校休校中の活動について

- ・3/2より休校となり、4/10からオンライン授業開始、6/1から分散登校、6/15より通常授業を行っている。オンライン授業により授業進度の遅れも出ていない。今年度は、土曜授業や長期休業期間の短縮により授業日数を確保する。
- ・春休みには、休校による登校や講習中止措置を受けて、精神的に孤立する生徒が出ないように3/6から学年ごとにメッセージや講習内容を毎日HPに掲載することを開始した。
- ・4/10より“Stay home Go forward”を合言葉に毎日時間割を組み、教材をPDF化してHPに掲載し、生徒がそれを見て、回答をGoogleフォームに入力するという形式でオンライン授業をスタートさせた。各方面から問い合わせや見学もあり、新聞にも掲載された。生徒へのアンケートでも満足度は高い。
- ・5月中旬よりオンライン講習もスタートした。通常授業が始まった6/15以降も、土曜講習についてはオンラインでの講習を継続し、教員が学校に出勤しなくても講習ができるようにしている。

iii. 国際交流センター留学生との定期的交流について

- ・当初、5月から月2回で計画していたが、新型コロナウイルスの影響で9月より年20回で実施予定。日本に留学している大学院生を講師として英語・韓国語の会話講座を開く。国際交流センターとしては、将来的には高津だけでなく近隣の高校にも広めていきたいとのこと。

III. 質疑応答

Q1：休校中の教員の出勤・在宅勤務についてはどうだったか。

A1：4月中旬よりテレワークも認められた。オンライン授業では、教材を各教科から添付ファイルで学校のHP係へ送る形式にしたので在宅勤務でも可能であった。しかし、オンライン授業の動画配信のため、撮影などで出勤する教員も多く、在宅勤務は3割～5割くらい。

- Q2：新型コロナウイルスの影響で「学校経営計画」を変更しないのか。
A2：3月に学校運営協議会で了承されたものなので、勝手に変更はできない。
- Q3：今年は体験型進路学習を行えるのか。
A3：2年の大学研究室訪問は10月に実施予定。1年の職場訪問は当初の7月から12月に変更して実施予定。ただし、新型コロナウイルスの影響で訪問が厳しい状況なので、オンライン等で行うかもしれない。
- Q4：新型コロナウイルス感染が広がったら一斉休校になるのか。
A4：休校措置は学校単位で行い、各校で1名でも感染者が出れば原則3日間休校、感染者や濃厚接触者は2週間の出席停止となる。
- Q5：その生徒たちの学習保障はどうするのか。
A5：2週間授業に出ないと厳しい状況になるので、授業を配信する等の検討を夏休み明けに行う予定。
- Q6：新型コロナウイルスによる休校で、生徒の精神的影響はあるか。
A6：休校中オンラインでも健康チェック（身体・精神面ともに）を毎日行い、現在も個票記入形式で実施している。当初は、精神的にしんどいと訴える生徒もいたが、登校が始まってからは治まっている。1年生は、2・3年生と違って高津での授業体験がなく、いきなりオンライン授業となったので大変だったと思うが、アンケートでは「すぐオンライン授業をやってくれてよかった」という感想が多かった。
- Q7：クラブ活動の状況、合宿はどうなっているのか。
A7：6/15から手洗い・消毒・可能な場合はマスク着用で再開（対外試合は7/14以降）しているが、更衣室が密になるので、運動部は更衣場所を分散するなどの対策をとっている。3年生は、野球・ラグビー・サッカー・陸上部等は引退前に大会があるが、ないクラブもある。ワンダーフォーゲル部は通常の春・夏合宿も行えない。
- Q8：オンライン授業では、ライブ配信などは行っているか。また、課題などの量は適切であったか。
A8：ライブ配信は系統的に難しい。オンライン授業では1コマ50分で時間割を設定し、各時間内に行える内容にした。2回生徒アンケートを実施し、その都度、各教科にフィードバックし改善を図った。生徒も時間割形式にしたので生活習慣も身に付き、できない生徒については担任がこまめに連絡をとっていた。
- Q9：新型コロナウイルスが治まってきた後、元の生活様式に戻るとは思わない。今後、対面授業とオンライン授業をどう活用していくか、中長期的に戦略的に考えていくのが良い。
A9：現在も、講習では対面講習とオンライン講習の併用など行っているが、更に研究していく。
- Q10：オンライン授業で向上した教員のICTを活用した教科指導力などを、今後の教育に生かせるのではないか。
A10：今回のオンライン授業については、生徒も教員も前向きに同じ方向性を持って捉えてくれた。ICTを活用する教員も増えた。その教科指導力を今後の本校の教育活動にさらに生かしていきたい。

IV. その他

- ・令和3年度使用教科書選定・採択一覧表の提示
- ・今後の学校運営協議会については決定次第連絡。大まかな予定は以下の通り
第2回：令和2年12月下旬
第3回：令和3年3月下旬